

プログラム（予定）

1. 埼玉支部企画 一般公開シンポジウム #は非会員
 「地域の多職種連携によるコミュニケーション支援」
 企画： 臨床発達心理士会 埼玉支部
 司会： 森脇 愛子（青山学院大学）
 講演講師：藤野 博（東京学芸大学）
 その他、埼玉県内の地域発達支援の取り組みを紹介
2. 埼玉支部企画 多職種連携のための事例検討ワークショップ(士会会員限定)
 企画・司会：森脇 愛子（青山学院大学）
 ファシリテーター： 飛田 孝行（東京小児療育病院），重森 知奈（帝京平成大学）
 生駒 花音（東京小児療育病院），成田 まい（秋田こどもと心の発達クリニック）
 ……ほか数名の多職種とともに
 アドバイザー：藤野 博（東京学芸大学）
3. 全国大会運営委員会企画 一般公開シンポジウム
 「教育現場における合理的配慮の現状とこれから」
 企画： 全国大会運営委員会
 （前半）講演： 立脇 洋介（九州大学）#
 （後半）トークセッション：立脇 洋介（九州大学）#
 村田 淳（京都大学）
 諏訪 絵里子（目白大学）#
4. 職能向上セミナー（各セミナーの参加人数には制限があります）
 ※参加希望の方は、大会参加申込時に合わせてお申し込みください。
 定員を超えた場合には抽選があります。

	テーマ	講師等	定員
①	絵本で広げる療育の遊び	講師 坂上 裕子（青山学院大学）	80人
②	WISC-Vに基づくアセスメントと支援の組み立て	講師 吉村 拓馬（鎌倉女子大学）	300人
③	音声教材の活用実践演習	講師 風早 史子 #（AccessReading）	50人
④	障害者における法の公平なアクセス支援スキル獲得のための参加型演劇ワークショップ	講師 堀江 まゆみ（白梅学園大学） 小出 薫 #（弁護士）	80人
⑤	心理発達支援のためのアセスメントの組み立てと活用	講師 諏訪 絵里子 #（目白大学）	300人

5. 実践研究発表（シンポジウム）

臨床発達心理士として理解しておくことが重要となる、最新の学術的知見、地域との関わり、新しい研修法など様々なトピックについてのシンポジウムを行います。これまでの全国大会において開催されていた実践セミナーAとBの区分けを廃止し、実践研究発表（シンポジウム）として募集を行います。また、従来の実践セミナーAでは、非会員の登壇者に講師料・旅費をお支払いしていましたが、廃止になります。

日本臨床発達心理士会に設立されている各委員会だけでなく、どの会員の方でも企画することが可能です。なお、一部は、オンデマンド配信専用の発表として配信します。

6. 実践研究発表（口頭発表）

日本臨床発達心理士会の会員が、日頃行っている実践や研究、事例、調査、療育・教育実践などを会場において口頭で発表する場です。自分自身の実践を振り返り、同じ実践をしている仲間と意見交換をし、さらに専門的立場からのスーパーバイズを受けるよい機会となります。領域的に近い発表3件を組み合わせたものを1セッションとし、90分で構成されます。

7. 実践研究発表（ポスター形式）

埼玉大会より新設された発表形式です。口頭発表と同様に日頃行っている実践や研究、事例、調査、療育・教育実践についてポスターを掲示し発表を行います。

発表者は冒頭に発表概要について参加者全体に説明をした後、各ポスターボードの前で座長のもと発表、および意見交流を行います。部屋の中では、参加者が興味関心のあるポスターの場所へ移動し発表者と自由に意見交流を行います。発表者の在籍時間は90分です。

部屋を出入りする際は、更新ポイントの付与のため、すべての人の入退室チェックが行われます。

8. 情報交換会

参加者同士が、共通のテーマのもと、自由に情報交換・実践交流をする場です。企画希望の会員は発表の申込時に情報交換会のお申し込みを行ってください。そのテーマに関心のある会員が自由に参加し、交流します。（更新ポイントの付与対象ではありません）

9. 全国各支部の取り組みポスター発表（職能職域向上委員会企画）

各支部の取り組みについて、ポスター発表を行い、支部会員在籍のもとで情報交換・交流を行います。1日目と2日目の昼休みに実施予定です。

10. 大会長・理事長挨拶・会務報告・次期大会長挨拶（会場にて動画配信）

8月23日（土）12:30～13:00 会場のスクリーンにて上映

11. 懇親会

8月23日（土）18:30～20:30

会場：高ようじ 大宮店（ダイワロイネットホテル大宮西口内）

参加費：8,000円

（事前申込制）